

防災の備え、知っていますか？

「防災気象情報」～①時間の表現

気象の解説では「明け方から雨」「夜遅くから風が強く」という表現をします。これは何時頃を指しているのでしょうか？

気象台では、天気予報や警報・注意報を発表する際には右図に示したように、0時から3時間ごとに8つに区切り「未明」「明け方」・・・「昼過ぎ」・・・「夜遅く」といった表現を用います。また、12時間前後を示す「昼頃」や「午前中」「午後」「日中」「夜」という用語もあります。

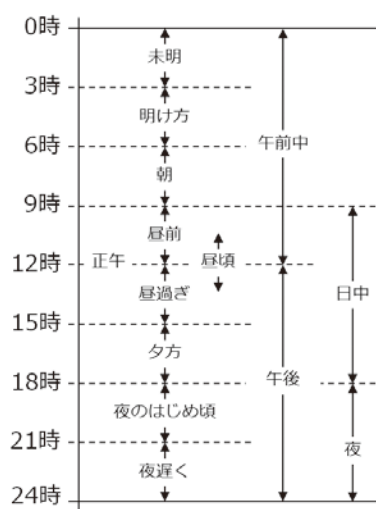
イベントやお出かけ、台風等の悪天に備えた準備を行うとき、現象が「いつ頃」から発生するのかを天気予報などの表現から読み取り、災害から身を守る行動が必要です。

天気予報で用いる1日の時間細分図（気象庁webページURL）

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/saibun.html

【防災コメント】

これからの季節は、空気が乾燥するため強風・乾燥による火災に注意が必要です。気象台は、空気の乾燥により火災が発生する恐れがある場合「乾燥注意報」を発表します。「乾燥注意報」は木材の乾燥の程度を示す「実効湿度」や一日で最も低い「最小湿度」を基準として発表します。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.41

こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。

昨年までは、街で春服を見て春の訪れを実感していましたが、今は自然の中でたくさんの春のはじまりを見つけることができます。植物の芽吹きや、春の鳥のさえずり、やさしい日差しなど、体いっぱい春を感じられるのは、地方暮らしの特権です！

3月3日（日）に「富士元寿彦と行く冬の動物探しスノーシューツアー」を開催、講師として動物写真家の富士元さんと、認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークの吉原さんをお招きしました。町内外からの参加者17名が、下沼地域の牧草地や林の中を、2時間ほど散策しました。春のような陽気の中、たくさんの動物たちの足跡を見つけたり、リスが木と木の間を飛んで移動する姿を見かけたり、巨木の根っこ大きさに驚いたり、自然の中の出会いはさまざまです。ひとりで歩いていてもなかなか見つけられないものが、ガイドの方と一緒にだと、発見することができるので、とても楽しかった！という、ありがたいお言葉もいただきました。散策後には、法昌寺さんで手作りの豚汁をいただき、ホロカルのコーヒーで一服した後、講師からお話を頂戴しました。

今年も引き続き、春にサロベツ原野の花を観察するツアー、夏にはカヌーで川を下るツアーなどの開催を企画しますので、ぜひご参加ください！



①散策中の初級者コース参加者



②富士元さんからの講話を聴く参加者